

【平成24年度 第2回】

鎌ヶ谷市立図書館協議会の会議（概要）

1. 日 時：平成24年11月12日 午後2時～午後4時
2. 場 所：図書館三階 保育室
3. 出席委員：濱田 友助、浜口 貞美、伊藤 眞由美、渡辺 みどり、野村 恵
(敬称省略) 小茂田 茂、樋口 美佐子、
(欠席者) 瀬田 信行、河永 光代、村上 千都子
4. 市 側：三宅館長、山本主査 担当 (和田)
5. 議事録署名人；野村 恵委員、小茂田 茂委員
6. 会議傍聴者：なし

平成24年度第2回鎌ヶ谷市図書館協議会

<会議次第>

1. 開会
2. 市側挨拶
3. 24年度視察結果の報告
4. 課題 (図書館の質的向上について)
～図書館分館の機能の充実について～
5. 閉会

【会議要旨】

委員長挨拶 (濱田委員)

図書館に来られた方が、来て良かったと思われる図書館づくりについて議論ができればと思っている。

市挨拶 (館長)

- 先月の協議会視察参加のお礼。今日の会議は「図書館の質的向上について」の討議をお願いする。

視察の報告 (渡辺委員)

- 協議会視察「いたばしポローニャ子ども絵本館」(H24年10月26日)について
 - ・視察先を事前に調べ、ある程度の知識を持ったの視察で、ワクワクして参加した。
 - ・2004年に開館。世界の絵本を集めた専門図書館。85カ国から収集し、現在、蔵書数は約23,000冊でその内8,000冊が書架にならんでいる。

- ・図書館支援ボランティアの方々により、筋書きの和訳がつけられ展示しているが、まだ未定本が沢山ある。(本格的な和訳は著作権との関係上控えている。)
- ・区民は閲覧できるが貸出については、企業並びに団体(図書館)のみとなっている。
- ・和訳コンテストを毎年開催しすでに18回実施されている。優秀和訳作品については、出版社と協議して翻訳本として出版している。
- ・鎌ヶ谷市へ寄贈：第18回いたばし国際絵本翻訳大賞受賞作品「こころやさしいワニ」・「こおりのなみだ」(2012年9月14日発行)岩崎書店一を頂いた。
- ・職員は絵本館という特殊館を多くの方々にとって頂こうとPRをなされていた。

【他委員からの補足報告】

- ・本の大きさに大小あり、慣れ親しんだ定番の大きさと異なり、受ける印象も様々に違うことを発見。またいつも見慣れた本に、日本語と外国語が並列して書かれており、各国の文化の違いから、表現も書き方も異なっている事が印象に残った。

—————議題4 図書館の質的向上をめざして—————

- 第2回会議の中心議論に入る。まず議長よりこれまでの経過が報告された。その中で、市全体の改革と市民の知的財産である図書館の改革では、限界や法的根拠があること。そして、まず、図書館運営方針の策定、一部窓口等の長期継続委託方式への移行は、事業仕分けでも一定の評価がなされたことが報告された。
- 「今後の図書館を質的に向上させていくためにはどうすればよいのか」について委員間で討議がされ、改善点など多くの意見がだされた。

議論は3段階に分割し、討議された。

- (1) 図書館全体のこれまでの取り組みと経過が総括される。
- (2) 市のこれからの図書館運営体制について確認された。
- (3) 最後に市域5箇所図書館分館についてと段階的に議論される。

委員からは、たくさんの意見や改善点が出された。

(この内容については後日、整理してから公開する。)

- 以上のことから、議長より本日の意見について、後日、副委員長と3名で、これまでの意見も含めて集約整理し、次回審議素案として事前配布をする取りまとめ案が付議され、委員全員により了承され閉会する。

平成24年12月12日

議事録書名人 野村 恵 印

議事録書名人 小茂田 茂 印